

金森長近の銅像（亀山公園）

越前大野の初代藩主・金森長近。大野市民なら良くご存知だろう。その業績などはさておき、今回は亀山公園の越前大野城前広場にある銅像の話。

元は大野の市街地が一望できる山頂にあった。金森長近公遺徳顕彰会が募金活動を進め、市政施行の年の昭和29年11月に完成した。富山県高岡市で鑄造され、工費は銅像の鑄造費、台座、運搬費などを合わせて130万円と記録されている。当時、山頂はススキが茂り、町を見下ろす広場は、芝生になっていた。子どもたちの遊び場になり、ふもとにあった大野高校生らも昼休みに散策に登っていた。



銅像は、越前大野城再建（昭和43年完成）のため、現在地に移されたが、いまでも温かいまなざしで、大野の発展を見守っているようだ。